

事務事業評価シート (評価対象年度：平成 30 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		青少年教育団体支援運営事業				②事業番号		7612									
③事業類型		3. 政策推進事業		④開始年度		昭和 59 年度		⑤終了予定年度		年度 ○ 設定なし							
⑥根拠法令等		法令		条例		規則		要綱		計画等 ○ その他		法令等の名称		泉南市青少年吹奏楽団規約・泉南市合唱団規約			
⑦実施手法		○ 直営		全部委託		一部委託		補助・負担		その他							
⑧関連予算科目コード		款		9		項		5		目		4		細目		4	
⑨担当部名		教育部		⑩担当課名		生涯学習課						会計		一般会計			

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 青少年吹奏楽団		① 団員数		人	
② 少年少女合唱団		② 団員数		人	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
泉南市青少年吹奏楽団及び少年少女合唱団に対し、練習場所の確保及びコンサート等の運営の補助・備品の管理等を行っている。 練習日 吹奏楽団 毎週土・日曜日 合唱団 毎週土曜日		① 練習回数(吹奏楽団)		回	
		② 練習回数(合唱団)		回	
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
泉南市少年少女合唱団及び泉南市青少年吹奏楽団 演奏会をはじめとする各行事への参加を通して青少年の健全な成長と泉南市の文化の高揚と発展に努める。		① 発表会の回数(吹奏楽団)		回	
		② 発表会の回数(合唱団)		回	
		③			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
団員自身の技術の向上及び文化に対する市民の関心が高まり、発表や仲間との交流がはかれている。		政策(章)		1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち	
		施策大(節)		4 だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進のまちをめざします	
		施策中		2 生涯学習内容の充実	
		施策小		1 活動・発表・交流の場と機会の提供	

〔2〕各種指標値、事業費の推移

		指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標①		団員数	人	30	30	30	30	30	
対象指標②		団員数	人	5	2	5	5	5	
活動指標①		練習回数(吹奏楽団)	回	100	100	100	100	100	
活動指標②		練習回数(合唱団)	回	50	50	50	50	50	—
活動指標③									
成果指標①		発表会の回数(吹奏楽団)	回	14	14	14	14	14	
成果指標②		発表会の回数(合唱団)	回	1	0	1	1	1	
成果指標③									事業費などの推移にお ける特殊要因などの説明
事業費	投入人員	正職員	人	0.33	0.23	0.24	0.24		
		任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
		臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	2,651	1,847	1,946	1,946		
直接事業費		千円	2,327	3,112	2,254	2,126			
総事業費		千円	4,978	4,959	4,200	4,072			
財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0		—
	府支出金		千円	0	0	0	0		
	受益者負担金		千円	0	0	0	0		
	その他特定財源		千円	0	0	0	0		
	一般財源		千円	4,978	4,959	4,200	4,072		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	音楽活動を通じて市内青少年の連帯と親睦を図る為。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	毎年演奏会等への来客数が多く、市民の関心が高いと考えられる。合唱団、吹奏楽団ともに団員数が減少傾向。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	演奏会などを実施することで、普段あまり文化鑑賞する機会がない方にも足を運んでもらうことができたため団員にとっても市民にとっても新たな交流の場となっている。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	泉南市の行事への積極的な参加をすることで、市のアピールにもつながる。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	演奏会への来客数の増加もあり、中には満員で入れないコンサートもあり市民ニーズは非常に高いものになってきている。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	気軽に音楽鑑賞ができる機会が少なくなるので廃止は考えられない。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	定期演奏会・市の行事に参加することで市民の市政への関心や理解を深めるうえでも効果的な広報活動につながっている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	更なる市民に関心をひく為に広報等の活動を積極的に行う。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	可能なものはすでにコスト削減を行っており、困難である。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	演奏会を有料にする方法もあると思うが、著作権の問題も難しくなる一方、市民が気軽に鑑賞できなくなる。

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	B	団員が少なく、発表の機会が少ない。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

イ	ア. 現状のまま継続	イ. 見直しのうえで継続	ウ. 終了 ↓ (年まで)	エ. 休止 ↓ (年から)	オ. 廃止 ↓ (年から)
	↓ <今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)				
①改革、改善の具体案、実施年度など		少年少女合唱団の入団員の増加及び発表機会の情報提供。			
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		—			